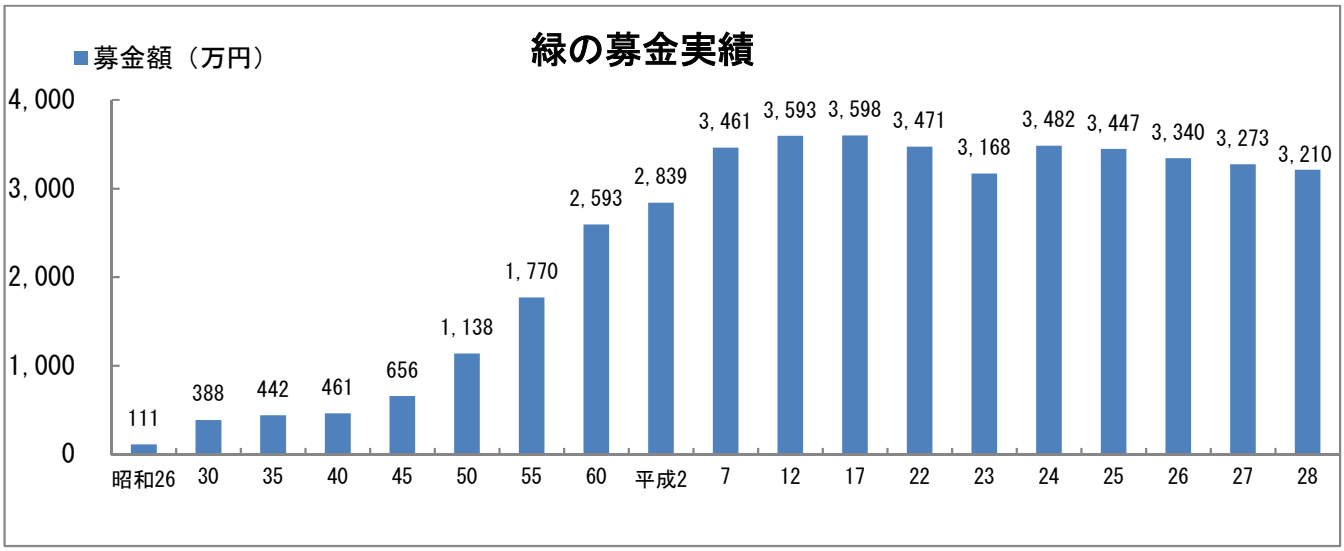
８．みどりづくり



公益社団法人千葉県緑化推進委員会資料

―県民参加のみどりづくりを進める―

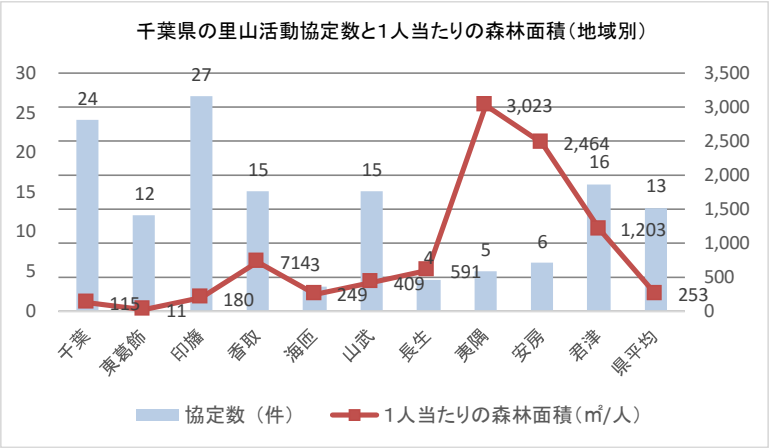
森林に代表されるみどりは、その恵みを通じて私たちの暮らしをさまざまな面から支えており、県民のみどりに対する関心やニーズは大きな高まりを見せている。

このようななか、みどりづくりへの県民参加の重要性について普及・啓発を図るため、県と公益社団法人千葉県緑化推進委員会は、春季の緑の募金期間中（3/1～5/31）に多彩な行事を展開している。

また、戦後の荒廃した森林の復興を目標に昭和26年から始まった緑の羽根募金は、平成７年度制定された緑の募金法により「緑の募金」に引き継がれ、平成28年度の募金実績は32,103千円で、寄せられた募金は、各種の普及啓発やみどりづくりに役立てられている。

９．里山活動

「千葉県里山の保全、整備及び活用の促進に関する条例」（千葉県里山条例）に基づき、県民による里山活動を促進する多様な取組みを展開した結果、里山活動協定の認定件数は、平成28年度末現在で127件、対象となる里山の面積は約194ヘクタールに増加している。地域別には、森林の多い県南部よりも、森林の少ない県北部の方が、都市住民の参加による活動が盛んであり、多くの協定が締結されている。



里山活動の中核組織となっている特定非営利活動法人ちば里山センターでは、里山活動団体のネットワークを構築するとともに安全講習会や里山カレッジの開講、里山活動相談や「ちば里山新聞」の発行等の普及啓発事業を実施し、里山活動団体への支援と県民や企業等の里山活動への参加を促進した。